



子どもたちは努力しています。

見えにくい小さな変化に気づいてゆきましょう！

さわやかな実りの秋となりました。平素は聖母の小さな学校の教育にご理解とご協力をいただき深く感謝いたしております。

学校の前庭の橐の木は、天候のせい、今年はあまり実を付けませんでした。例年、日本のものより大きな実をたくさん付けます。食べるとりんごのような懐かしい味がします。この木は 20 数年前、生徒の歴史学習の足しになればと、東京乃木坂にある旧乃木希典邸^{まれすけ}からいただいたものです。乃木大将が日露戦争の終結の折、ロシア軍のステッセル將軍と会見をした旅順：水師營の民家の庭から持って帰られたものだそうです。乃木邸玄関前に植えてあります。「これは水師營の孫の木だから、この脇芽はひ孫になります」と言っていたいてきました。歴史が刻まれたこの木を、生徒と共に大切に守り育てたいと思います。

さて、いよいよ 10 月 9 日（土）はスポーツフェスタです。現在、在籍する 4 名の生徒たちは、今、日々の生活を普通に戻す努力を重ねております。朝起きること、聖母に行くことを目下の目当てに、親と子で取り組んでいます。こうして自身の行動が整うことによって、気持ちも創造的になり、活発になります。そして、行動を整える努力をするうちに、自身の特徴も分かるようになります。今の時点では、一生懸命がんばっても 3 日外に出ると疲れ果てる。それは、体力のなさなのか、他人の目が気になるのか、色々考えることができます。それを子ども一人が思っているだけでなく、家族や先生と話をしていると、親も、大人である自分もそう感じやすいとか、色々広がりが出ます。自分の中で完結させず、どんなことでも広げていきましょう。

また、ある生徒は、「不登校という事実を認めたくない」と作文に書いています。これは自分と向き合い始めた証しです。「友だちには弱っている自分を見せたくない」と続けています。「これから先どうしていいかわからない。この現実からは逃げられなくて、どうしようもなく苦しい」という混乱した、先の見えない現在の自分からの声です。どのような形であれ、子どもの現実こそ、事実こそ、存在そのものです。そして、その事実から一歩ずつ学び、生きていく訳です。子どもが真剣で心の底にある「自分の不登校という事実を認めたくない」と叫んだのです。私たち大人も、本当の真剣さで受け止めたいと思います。そして、そのような真剣さで受け止め、生徒を理解し、教育にあたろうとするのが聖母の小さな学校であり、今月 9 日に開催されるスポーツフェスタです。生徒の心の底からの叫びを受け止め、共にそこに留まり、生徒のありのままを喜びを持って認める…。できるとかできないとかを越えた価値観で、存在そのものを応援する…。それがスポーツフェスタの精神です。一人ひとりの生徒の心に希望の灯が灯るよう願っております。皆様よろしくお願いいたします。

＜今月の主な行事＞

- | | |
|---------------------|---------------------------------------|
| 2 日（土）グラウンド整備 | 21 日（木）華道教室 |
| 9 日（土）スポーツフェスタ 2021 | 22 日（金）心身障害者施設ボランティア
月例保護者会 19：00～ |
| 14 日（木）・29（金）ギター教室 | 26 日（火）調理実習 |
| 15 日（金）遠足 | |

